

コミットメントカードは HACCP導入の第一歩となるか

ハ サ ッ プ

熊本市保健所食品保健課 甲斐淳平 丸内晃子 水田貴子
(熊本市都市政策研究所 併任研究員)
実施フィールド：熊本県熊本市

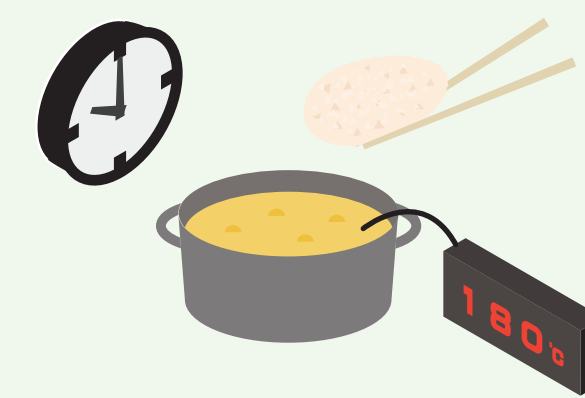
ハサップ HACCPとは…

Hazard Analysis Critical Control Point (危害要因分析・重要管理点)の頭文字をとったもの。調理工程のどの段階で微生物や異物混入が起きやすいか、危害を分析し被害を未然に防ぐ食の安全を守る方法。

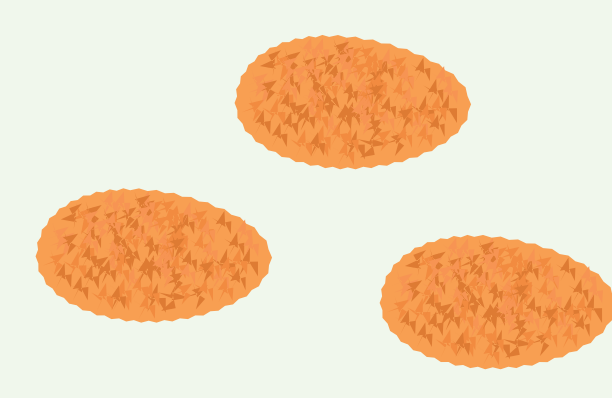
例) とんかつ



①豚肉には食中毒菌が付着している。



②油温と揚げ時間を連続的に監視して

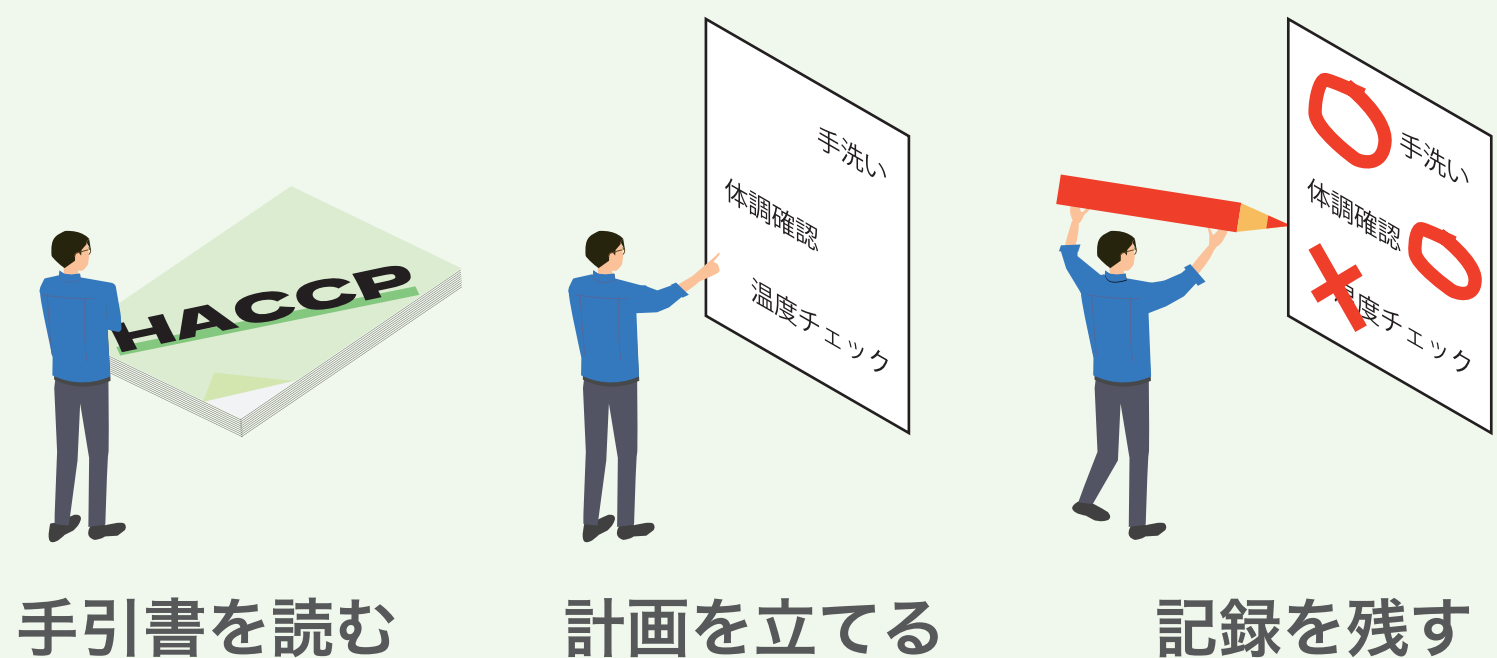


③製品全体の安全を担保する。

背景：HACCPの義務化

令和3年から、全ての食品事業者はHACCPに沿った衛生管理計画の策定と記録の実施が義務化された。

取り組むことは



課題：先延ばしの壁

許可申請時点でHACCP未実施・未理解の食品事業者が存在。保健所窓口で説明しても、行動に繋がらないケースが多くみられる。

実際は



適用したナッジ：コミットメントカード

自分の宣言を行動に変える仕掛けとして、複写式の黄色いカードを作成。

何からすれば

スモールステップ
段階的な目標設定で、「今すべきこと」を明確化。

運用の流れ



- ①「計画書を作成します」にチェック+期限の記入+署名。
- ②「記録を始めます」にチェック+開始日の記入。
- ③「記録を続けます」にチェック。

やってみよう 食の安全の証 HACCP

職員使用欄
いつまでに 月 日までに

利用欄
いつから 月 日から

月 日

月 日

期限の明示
自ら期限を設定することで、先延ばしを抑制する。

相互確認とリマインド
複写により証拠を共有することで、約束の風化を防ぐ。

署名による自己宣言
自ら名前を記すことで、当事者意識を高める。

調査対象

- 令和7年10月7日～令和7年11月28日に窓口申請
- 申請時にHACCPに取り組んでいない施設
- 飲食店営業の申請者（臨時営業、仮設営業、自動車営業を除く）

調査方法

ランダム化なしの準実験（グループ間比較）

- コントロール週：通常の説明のみ
- 介入週：通常の説明 + コミットメントカード

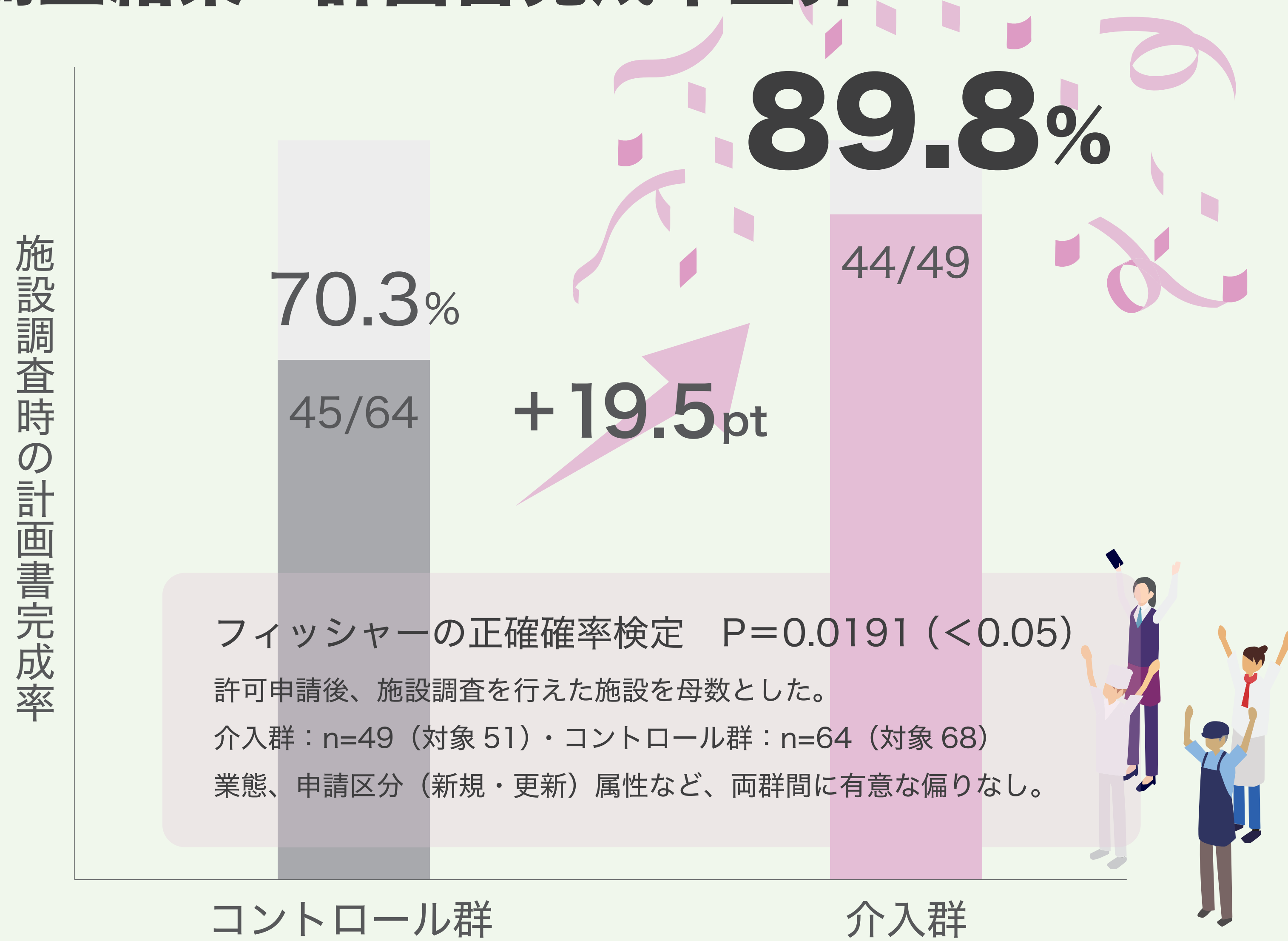
10 October 2025						
Day	1	2	3	4	5	6
5						
12	介入					
19						
26						

11 November 2025						
Day	1	2	3	4	5	6
2						
9						
16						
23						

調査内容

- 以下2点の取組みに差が現れるかを検証
- 施設調査時に計画書を完成させているか
 - 計画書完成の場合、許可証受取時に記録を付けているか

調査結果：計画書完成率上昇



なお、許可証の郵送対応や未来所による接触機会の喪失、および未開業といった要因が重なり、計画作成後の「記録の継続状況」を判定・検証するまでには至らなかった。

考察：HACCP導入の第一歩となった

- コミットメントの効果**：口頭のお願いを自筆の約束に置き換えることで自発的な行動変容を促すことができた。
- 低コスト・高効率な介入**：複写式のカードを追加するだけで、計画書完成率を約70%から約90%へと有意に向上(+19.5pt)させた。
- 他業務への応用**：本手法はあらゆる「努力義務」や「自発的行動」を促す業務に応用可能な汎用性の高い介入モデルと考える。
- 今後の課題**：計画作成は促進されたが、日々の「記録の継続」の確認には課題が残る。長期的な定着に向けたナッジの検討が必要である。

